

在宅医療・介護多職種連携協議会 多職種連携・情報共有システム部会 ～報告～

部会の目的

在宅医療に係る多職種連携の推進及び情報共有システムの効果的な活用について検討する。(試行WG, 試行WG評価チームの発展形)

- 症例を通じた多職種連携ルールの検討
- 好事例を基にした情報共有システムの活用方法の検討

内容

第1回部会

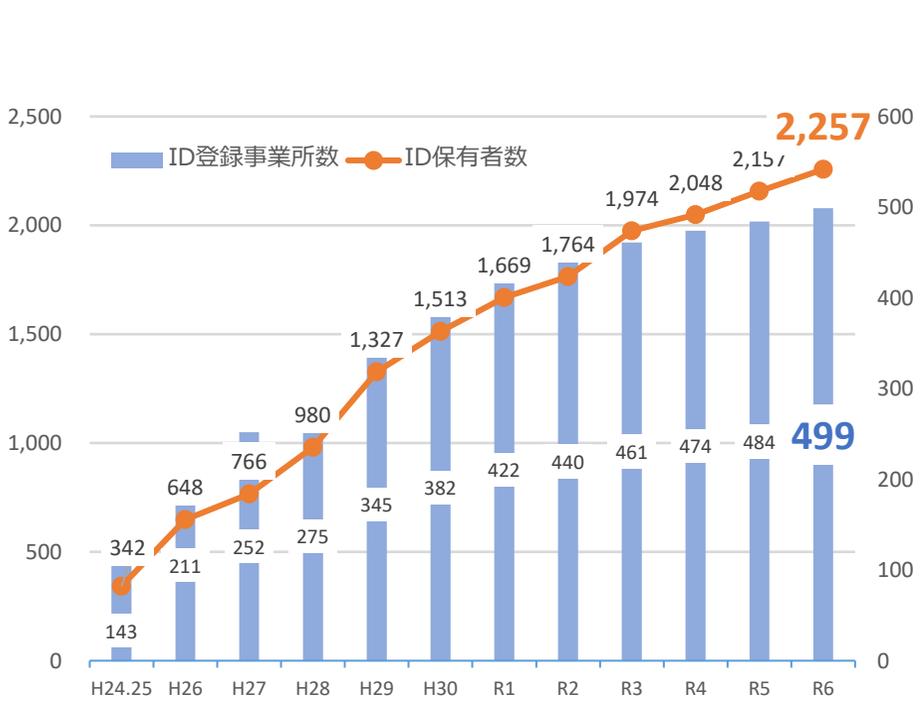
参集形式
(令和7年5月27日)

- 1 報告 (1)令和6年度カシワニネット利用状況
(2)令和7年度個人情報保護研修会
- 2 議事 カシワニネットの効果的な活用に関する具体的な取組を実行する

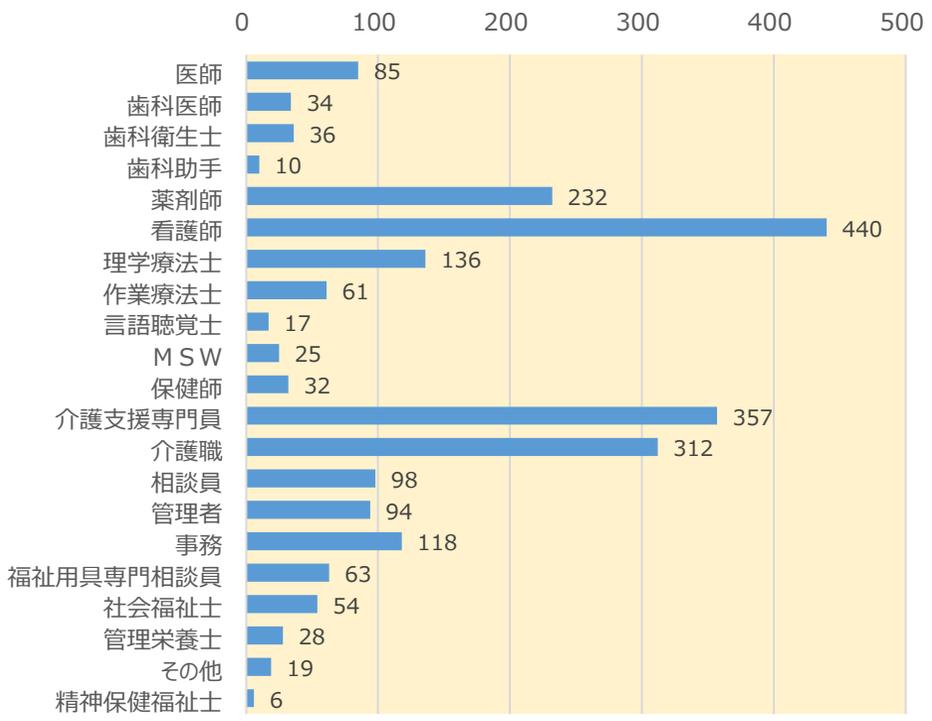
① I D 登録事業所数・I D 保有者数の推移と職種別ID内訳 (R7.3.24時点)

- ・ID登録事業者及び保有者数は増加し、保有者の登録は2,200人を超え、開設当時から10年で約6.5倍に増加した。

I D 登録事業所数・I D 保有者数

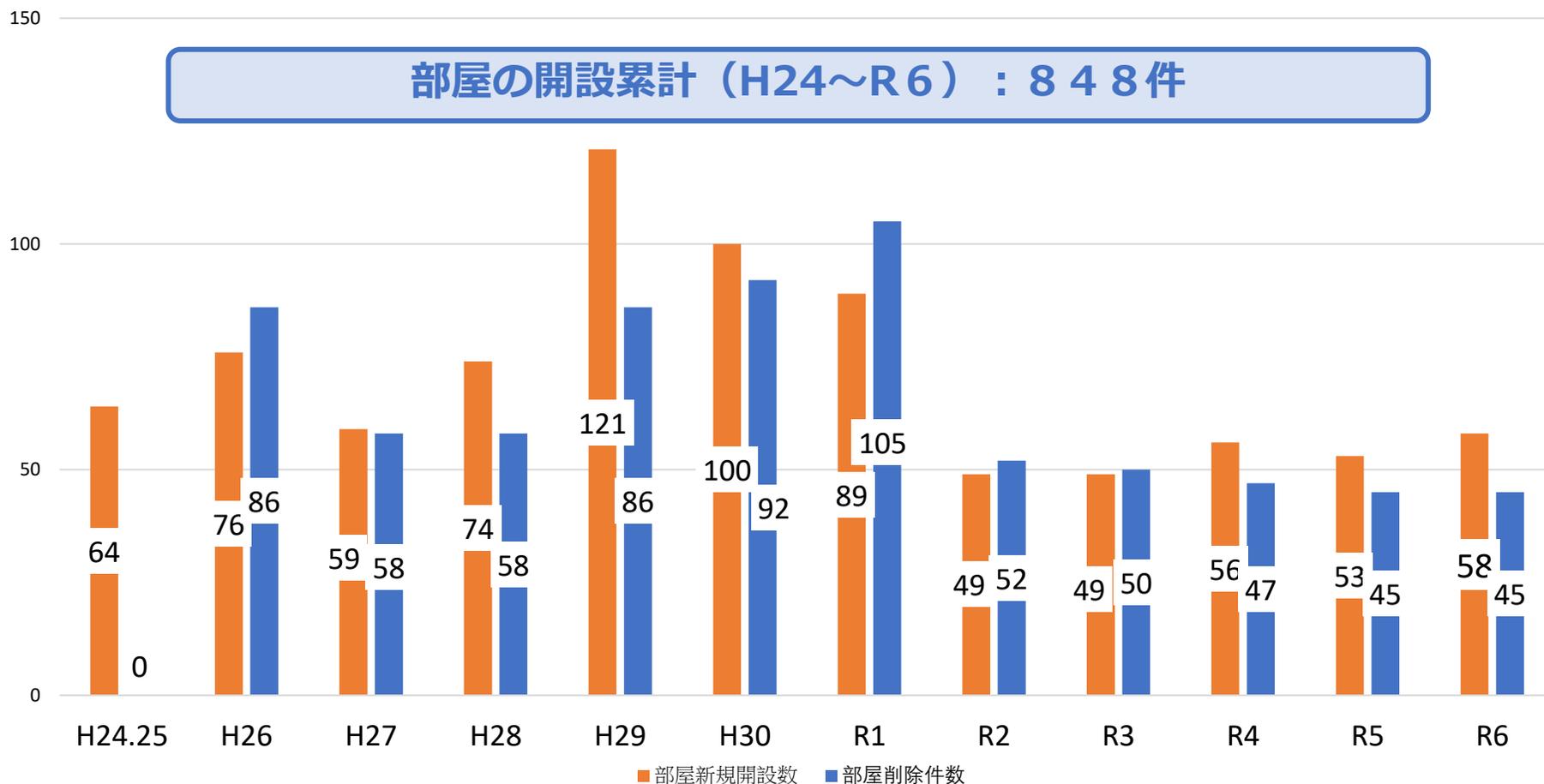


職種別ID保有者数



②部屋の開設状況（R7.3.31時点）

- ・新規部屋開設数は近年50件以上で推移している。
- ・現在（R7.4月末時点）開設している部屋は109件である。



③ 部屋開設数の内訳（R7.3.31時点）

- ・疾患別内訳は、非がんが約8割、がんが約2割である。
- ・R6年度は、非がんの疾患では、認知症や圧迫骨折などの整形疾患が半数だった。お部屋開設の理由では、「独居」のケースが11件あった。

時期		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
部屋開設数		49件	49件	56件	53件	58件
申出者別内訳	医師	5件	5件	0件	0件	1件
	看護師	8件	8件	13件	8件	11件
	ケアマネ	23件	32件	42件	43件	45件
	MSW	4件	4件	0件	0件	0件
	その他	9件	0件	1件	2件	1件
内訳疾患別	がん	18件	17件	12件	19件	14件
	非がん	31件	32件	44件	34件	44件
1件あたり平均利用事業所数		5.34事業所	5.69事業所	5.37事業所	5.50事業所	5.29事業所

① 令和 6 年度個人情報保護研修会実施結果 (R5.11.6~27)

■ 対象

対象事業所数 : 4 8 7 事業所

受講対象者 : 2, 0 6 8 名 (カシワニネット担当者 : 4 6 2 名 一般受講者 : 1, 6 0 6 名)

■ 結果

実施結果	受講事業所数 : <u>3 3 1 事業所 約 6 8 %</u> (うち, 全員受講の事業所数 : 2 4 5 事業所) 参加者数 : <u>1, 2 8 5 名 約 6 2 %</u> (うち, カシワニネット担当者 : 2 7 8 名 一般受講者 : 1, 0 0 7 名)
アンケート結果のまとめ (抜粋)	・ 回答者のほとんどが 個人情報保護に対する重要性の再認識 や 現場のルール等を見直す機会 となった ・ システム操作は「わかりやすかった」と回答した方が多い一方で, 「 わかりにくかった 」と回答した方は カシワニネット担当者が多かった (カシワニネット担当者専用のシステム操作が煩雑のため, 簡易的な操作を求める方が多かった)



<総括>

- ・ 本研修は個人情報保護に対する重要性を再認識する機会, 今後の業務の危機管理等に繋がる場となった
- ・ 研修の受講率を向上させ, 継続して受講するには, システムの操作等を簡易化し, 負担のない受講環境を整備していくことが重要である

② 未受講事業所アンケート（R7.2.5~2.21）

調査対象事業所：受講対象者全員が未受講であった事業所 158件

回答者：事業所のカシワニネット担当者
（各事業所に1人設置し、カシワニネットや本研修の窓口を担う方）

■ 結果

回答数（率）	73件（約46%）
アンケート結果	<ul style="list-style-type: none">・受講しなかった理由の多くは多忙と失念だった・アーカイブ配信について、「これから視聴」「視聴した」と回答した方が約9割だった

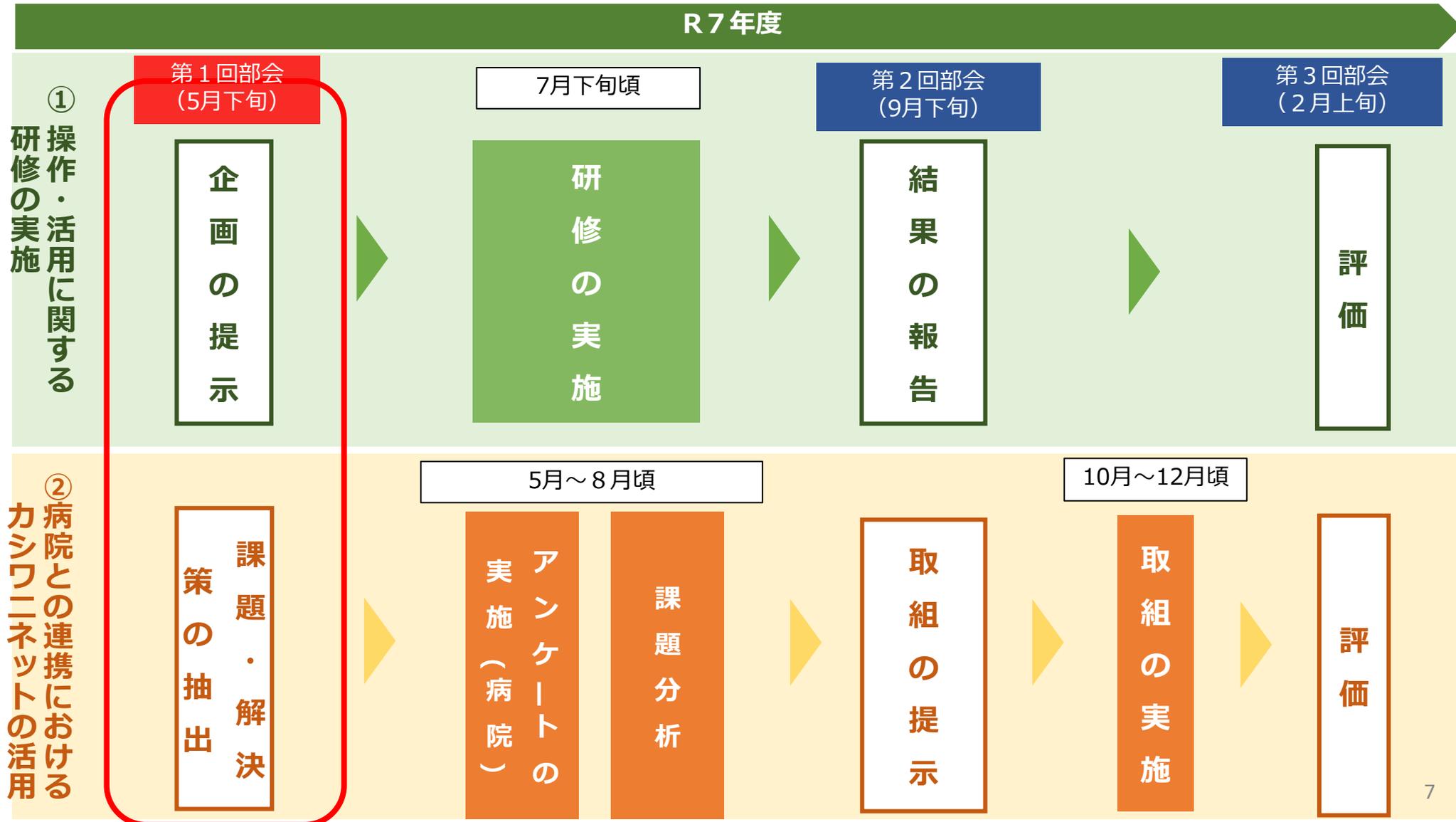


■ 今年度について

- ・カシワニネットID登録者全てを対象とし、研修システムを活用したeラーニングを実施
- ・個人情報保護の基本及びカシワニネットの効果的な活用に関する動画を作成する予定

※詳細は、第2回柏市在宅医療・介護多職種連携協議会にて報告予定

◆R6~R7年度部会のテーマ
多職種連携においてスムーズな情報共有を行うために、カシワニネットの効果的な活用に関する取り組みを検討し実行する



①カシワニネット操作・活用に関する研修会の実施

活用状況の階層

□ログインしたことがない

□ログインしたことがある
→投稿や閲覧方法，活用方法がわからない

• 閲覧や投稿をしている
• 部屋を開設したことがある

目指す姿

- 操作がスムーズにできる
- 部屋の見方，投稿の仕方がわかる
- 部屋の閲覧や投稿がスムーズにできる
- 自身がどのような時に投稿すればよいかわかる（役割の理解）



研修概要

○目的

- カシワニネットの理解を深める
- システム操作への負担感や苦手意識を軽減する
- カシワニネットの活用方法を学び，日頃の支援の中で活用できるようにする

○概要（予定）

開催時期：令和7年7月下旬頃

日数：複数日で調整中

開催形式：ハイブリッド形式

- 内容：
- カシワニネットの制度
 - カシワニネットの基本的な操作
 - カシワニネットの活用

○評価

研修前後のアンケートによる評価

【令和6年度実施】カシワニネットの活用に関するインタビューやその他活用方法などをまとめ，周知する予定（例：カシワニネットやホームページへの掲載，動画配信等）

■ 全体協議

研修企画について、

多くの多職種に参加いただくための工夫や仕掛けなどを協議

結果

○開催日程・時間に関すること

- 【医療職】・夕方または夜間の開催がよい。
 - ・職能団体の主催または市との共催で実施すると参加者が増えるかもしれない。
- 【介護職】・日中の開催が参加しやすい。
 - ・様々な勤務形態のため、開催日程に工夫が必要である。

○開催形式に関すること

- ・基本的なことは事前にeラーニングで視聴した上で、カシワニネットへの投稿等の操作方法については、参集で実施してもよいのではないか。

○インセンティブに関すること

- ・日頃の業務において負担を軽減できるようなメリットがあるとよい。

<今後の予定>

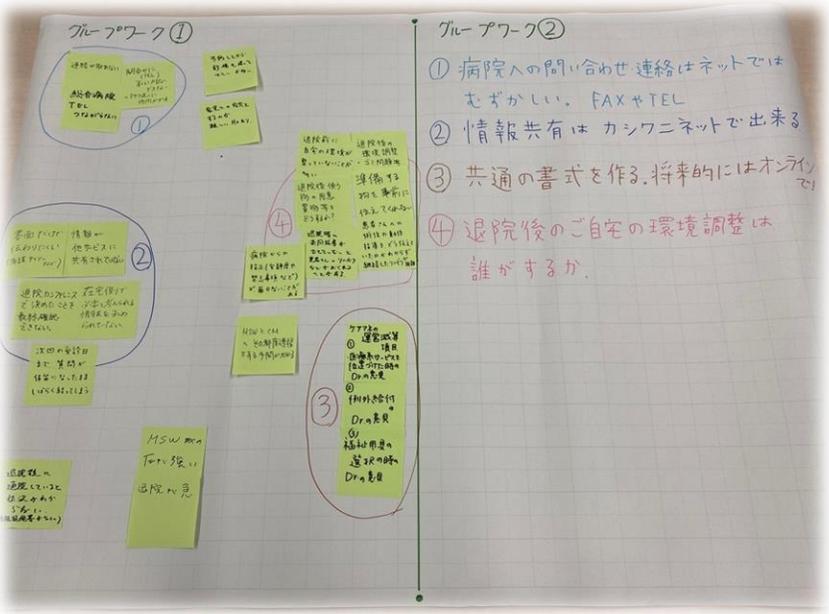
- ・意見を踏まえ、**研修企画を固める**
- ・**7月下旬頃**に**研修会を実施**する

② 病院と在宅との情報共有における課題の抽出

※病院の地域医療連携担当者グループワーク参加

■第1グループ

工程1：病院との情報共有で「困っていること」「やり取りがうまくできていないこと」を抽出



《意見抜粋》

- ・連絡が取れない
- ・問い合わせにすぐ対応できない
- ・書面だけでは伝わりにくい(看護サマリーなど)
- ・情報が他サービスに共有されていない
- ・在宅側で必要と考えられる情報をまとめられていない
- ・次回の受診日まで、質問が保留になったまましばらく経ってしまう
- ・①医療系サービスを位置付けた時②例外給付③福祉用具選択時などに必要な医師の意見を伺うのに苦労している(ケアマネの運営減算項目)
- ・退院前に自宅の環境が整っていないことが多い
- ・準備する物を事前に伝えてくれない
- ・患者さんへ術後の動作指導をどう伝えていたのかわからず、継続したリハビリが困難
- ・退院時に共同指導ができていないと患者さんのリハビリなどが遅れることがある
- ・病院からの指示(安静度や禁忌事項など)が届かないことがある
- ・MSWとCMへその都度連絡をする手間がかかる

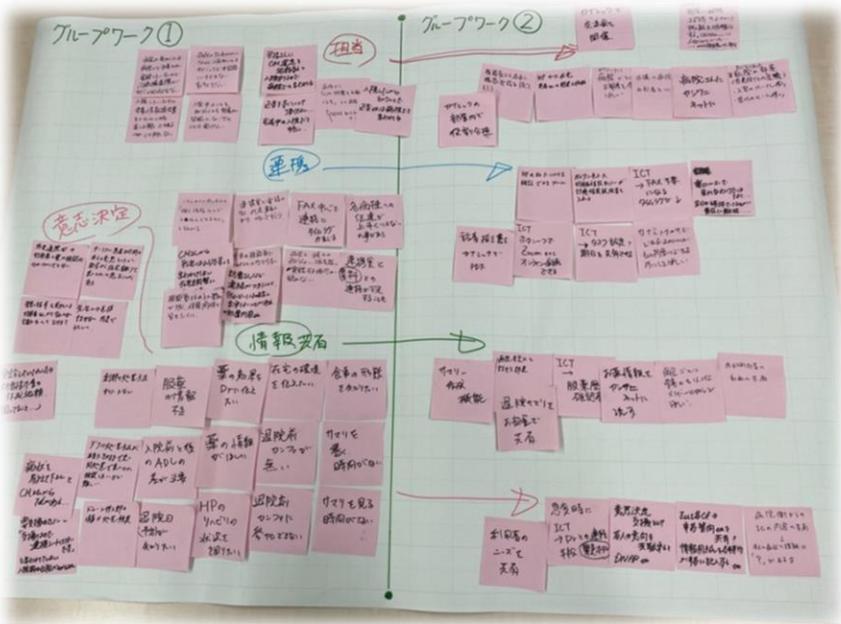


工程2：カシワニネットを使って「改善できそうなこと」「有効的に活用できそうな場面」を抽出

- ・入退院時の患者の情報共有はカシワニネットできそう。
- ・病院への問い合わせは、システムでのやりとりでは難しそう。
- ・支援に必要となる病院の医師の意見等は、共通の書式を作れるとよい。(将来的にはオンラインできるとよい。)
- ・退院後の在宅の環境調整は誰が行うのか。

■第2グループ

工程1：病院との情報共有で「困っていること」「やり取りがうまくできていないこと」を抽出



《意見抜粋》

- ・ 包括にケアマネジャーの選定を依頼すると、入院中のため病院で調整してほしいと言われる
- ・ 知らないケースについて病院からケアマネジャーの調整に関する連絡が入る
- ・ FAX中心で連絡にタイムラグが生じる
- ・ 担当の相談員になかなか連絡が繋がらない
- ・ 訪看など連絡が付きにくく、タイムリーに話しができないことがある
- ・ 連携室と担当科との連絡が不足することがある
- ・ 外来通院の場合、利用者の薬の相談がなかなかできない
- ・ 先生と直接話せない
- ・ 処置方法が本当にそのまま良いのか相談したいが難しい
- ・ 服薬の情報不足、薬の効果を医師へ伝えたい
- ・ 退院日(予定)が知りたい
- ・ 病院のリハビリの状況を知りたい
- ・ 在宅の環境を伝えたい
- ・ 食事の形態を知りたい
- ・ 退院前カンファがない、参加できない
- ・ 病院の栄養士がカシワニネットに登録していないので、システム上で同職種連携ができない

工程2：カシワニネットを使って「改善できそうなこと」「有効的に活用できそうな場面」を抽出

- ・ 病院ー在宅で患者の部屋を作る
- ・ 意思決定支援として本人の意向を共有できるとよい
- ・ カシワニネットで利用者情報、サマリーや診療情報提供書、訪問看護指示書、薬の情報などを共有する
- ・ (病院では) 電子カルテの入っているパソコンで外部と通信をすることができない。外部とのやり取りは別の端末を使用しているため、普及に難渋している
- ・ カシワニネットのオンライン会議機能を有効活用する。(退院前カンファレンスなど)

■まとめ

カシワニネットを使って **改善できそうなこと** は、**以下2点** であった

- **入退院時の情報共有**
- **病院との日頃の連絡や伝達**



<今後の予定>

- ・ **病院の地域医療連携担当者を対象にアンケートを実施し、課題を抽出**
- ・ 双方の**課題を分析し、改善に寄与する取り組みを企画**

■第2回部会 9月下旬頃開催予定